

「東海第二発電所 防災訓練実施結果報告書」の要旨

１．報告内容

東海第二発電所 防災訓練実施結果

２．報告年月日

２０１９年６月７日

３．防災訓練実施結果の主な内容

東海第二発電所原子力事業者防災業務計画に基づく訓練

防災訓練実施年月日	２０１９年３月１２日
想定した 原子力災害の概要	東海第二発電所は定格熱出力一定運転中のところ、東海村震度６強の地震による影響を受け、外部電源喪失事象が発生する。非常用ディーゼル発電設備３台（２Ｃ、２Ｄ、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機）の内、非常用ディーゼル発電機（２Ｄ）の１台は一旦起動に成功するものの、その後起動に成功した非常用ディーゼル発電機１台のトリップにより全交流電源喪失となる。更には常設代替高圧電源装置の中央制御室からの起動不可により、現場からの起動に成功するまで交流電源の喪失した状態が継続する。原子炉への注水は、原子炉隔離時冷却系の機能喪失により常設高圧代替注水系ポンプを起動するがその後原子炉への注水が不能となり、原子力災害対策特別措置法（以下「原災法」という。）第１５条に該当する事象に至る原子力災害を想定し、かつ東海発電所との同時発災とする。
参加人数	合計２１８名 （社員２１３名、関係会社・協力会社員５名）
防災訓練の内容	以下の項目を「シナリオ非提示」にて実施。 【東海第二発電所における訓練】 (1) 要員参集訓練 (2) 通報連絡訓練 (3) 緊急時環境モニタリング訓練 (4) 発電所退避者誘導訓練 (5) 全交流電源喪失対策訓練 (6) シビアアクシデント対策訓練 (7) 原子力緊急事態支援組織対応訓練 【本店における訓練】 (1) 発電所災害対策活動支援対応訓練 (2) 本店原子力施設事態即応センター設置・運営訓練 (3) 原子力事業所災害対策支援拠点の設置検討及び適地選定訓練 (4) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練 (5) 広報対応訓練 (6) 原子力緊急事態支援組織への出動要請訓練 (7) ヘリコプター搭乗訓練

防災訓練結果の概要	訓練結果の概要は以下のとおり。 【東海第二発電所における訓練】 防災訓練の内容のうち、(1)～(7)について、適切に実施された。 【本店における訓練】 防災訓練の内容のうち、(1)～(7)について、適切に実施された。 ●全体的には、訓練の目的として設定した内容について、防災要員の緊急時対応能力の習熟、緊急時対応組織内の指揮命令が適切に行われたと評価する。
-----------	--

4. 今後の原子力災害対策に向けた改善点

(1) 問題点として抽出されていないものの、更なる改善として取り組む事項

①事故収束に向けた対処方針及び優先順位について

事象発生初期段階での進言の内容に関する発話の優先順位を整理し、「EAL判断に関する事項」及び「人身災害・火災の発生」とするなど、発話の優先順位を明確にすることとする。

②プラント停止後の初期状態の確認項目の入手について

プラント停止後の初期状態の確認項目をルール化すると共に、ERC対応班総括が、プラント停止後の初期状態の確認項目をチェックすることとする。

③情報フローの更なる改善について

本部要員のうち、情報共有ツールである情報共有化システムを取扱う役割やフルスコープシミュレータ画像を取り扱う役割を明確にし、情報フローへ反映する。

以 上